

## 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について



井上 芳弘 議員  
(日本共産党)

**問** 市内の感染状況についてお尋ねしたい。

**答** 9月9日現在で、加西市在住者は9名と公表されています。9月1日までは3名でしたが、2日には9名となりました。これは、新たに感染が確認されたものではなく、兵庫県が健康福祉事務所管内と公表した方のうち、感染者本人または保護者から、市町名の公表への同意を得た方について公表されたということです。また、7月25日に感染が確認され

た大型商業施設での感染については、合計12名の感染が確認されましたが、その後8月20日まで新たな感染は確認されておらず、今回の集団感染は収束したものとみなされています。大型商業施設では来店者の検温や店内の換気、チェックリストによる全従業員の体調管理など、徹底した感染拡大防止対策を実施されており、安心してご利用いただきたいと思えます。

**問** 病院や高齢者施設での今後のクラスター対策について。

**答** 高齢者施設、障害者施設等の各施設と連携を図りながら徹底した感染防止対策を進め、万全を期したいと思えます。

**問** PCR検査体制について、十分な対応が出来たのか。また、どのような体制であったのか

お尋ねしたい。

**答** 現時点では、加東健康福祉事務所管内の医療機関での検査には余裕があります。ただ、医療機関や福祉施設、学校などでクラスター発生が懸念される場合は、幅広く検査を実施しなければなりません。先の大型商業施設で発生した際は、加東健康福祉事務所内でドライブスルー方式でPCR検査を実施しましたが、多くの検査をする事態が発生した場合は、このように県と連携を図りながら対応したいと考えます。今後、インフルエンザとの同時流行に備え、発熱症状がある方の受診手続きが変更されます。兵庫県では、保健所を介さずかかりつけ医の紹介により、地域外来・検査センターでPCR検査が実施できるようになります。北播磨地域でも開設が調整されているところです。

## 移住・定住促進について



下江 一将 議員  
(21政会・加西とくに育つ会)

**問** 新型コロナウイルスの影響により令和2年度の移住相談会の実施はどうなっているか。また、加西市としてコロナ禍において移住相談をどのように実施されるのか。

**答** 今年度は新型コロナウイルスの影響により、県等が主催する移住相談会は9月までの開催は全て中止となり、今後の開催も困難な状況であると考えます。そのため加西市ではLINEやZOOMを活用して、オンライン

による移住相談窓口を8月に開設し、対面時と同じように相談ができる環境を整備しました。

**問** 移住希望者の希望に即した環境をつくるためには、地域の受け皿以外に農業などテーマに合わせた受け皿も必要だと考える。今後、受け皿となるようなテーマを持ったコミュニティをつくる動きはあるか。

**答** 加西市では、昨年度から3カ年事業として関係人口創出事業を実施しており、加西市に興味を持つ都市部住民の挑戦を応援・支援する、「なにはじ応援コミュニティ」の設立を目指しています。加西市の様々な分野で活躍している方や先輩移住者等で構成し、加西市で何かを始めたい方を様々な角度から応援することを目的としたコミュニティで、今後の

加西市の移住・定住者支援には欠かせないものと考えています。

**問** 空き家バンクの利用登録80件に対し、物件登録は20件となっている。多くの利用登録があり、また地域には多くの空き家があるにも関わらず物件登録数が少ないのは課題である。物件登録の促進について伺いたい。

**答** 空き家の所有者等が売却または賃貸を決意する状況をつくり出すことが必要であると考えています。現在空き家の所有者等に何らかのインセンティブを付与する制度を検討しており、この制度により物件登録の促進を図っていきたいと考えます。

### ■その他の質問項目

- ・若者の活動・創業支援について
- ・裾野の広い農業の育成について